

公益社団法人全国和牛登録協会
令和6年度事業報告書

令和6年度は、国際情勢の不安定化や地球規模の気候変動による異常気象が頻発し、畜産はもとより我が国の農業全般にわたり不確実性が高まった年でした。とくに和牛経営においては、飼料価格や生産資材高騰による経営圧迫の影響は大きく、生産コスト上昇の一方で、子牛価格の低迷により収益性が悪化し、厳しい経営環境が続きました。このように社会経済環境が目まぐるしく変化する中、農業の持続的な発展の重要性が再認識され、我が国では四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正されました。なかでも畜産においては、コスト削減をはかる生産性向上や付加価値向上によって収益性の改善を図ることが重要で、それらを実現するために、5年ぶりに家畜改良増殖目標の見直しが行われました。しかしながら、生産現場では、依然として増体性や脂肪交雑に優れた特定の種雄牛に供用が集中し、遺伝的多様性の喪失だけではなく、牛肉の消費者ニーズとのミスマッチも拡大しており、和牛の将来をしっかりと見据え、飼料利用性、繁殖性、食味性などに係る新たな改良形質に着目した改良の推進とその実効性が求められています。

さて、昨年は第13回全国和牛能力共進会北海道大会（以下「北海道全共」という）の出品区の概要や出品条件並びに審査基準が決定され、出品に向けた取り組みが本格化しました。北海道全共の参加道府県は41道府県で、最終比較審査出品頭数は種牛255頭、肉牛193頭、特別区27頭、合計475頭となり、各地域の和牛生産関係者が集い改良成果の実証展示とともに、和牛の魅力を広く発信し、将来の担い手とともに和牛の未来を紡いでいくことが期待されます。

このような中、登録事業については、基本本原登録57,430頭（前年対比84.3%）と前年に続き約1万頭減少し、令和3年の8万頭強をピークに大幅な減少が続き繁殖雌牛基盤の脆弱化が懸念されました。同様に、高等登録についても1,070頭（前年対比86.9%）と大きく減少しました。また、子牛登記については、506,627頭（前年対比96.8%）と約1.5万頭の減少に転じ、受精卵産子の伸び悩みとともに、繁殖農家の廃業に伴う繁殖雌牛全体の頭数減の影響が表面化しました。

育種改良事業については、種雄牛造成において、現場後代検定法における82頭の若い種雄牛の成績では、BMSNo. 10以上の能力を持つ種雄牛は56頭（68.3%）となり、引き続き産肉能力優秀な種雄牛が造成されています。一方で、和牛全体での近交係数の上昇の抑制と遺伝的多様性の確保を考慮すると、新たな改良目標への転換が喫緊の課題となっています。北海道全共出品に向けた取り組みを契機として、地域の特色ある牛づくりの継続と、新たな牛肉の価値観の醸成につながる脂肪の質の育種価評価の定着が必要です。とくに、食味性の向上につながる改良については、全国34道府県で脂肪の質の育種価評価が行われるようになり一定の進捗がみられましたが、データ収集への取り組みについては県間で差が認められ、全国域での普及が課題となっています。また、登録制度の中でも新たな改良形質への改良を促し、産肉能力については現状レベルを維持しつつ、斉一性ある集団づくりを目指していくため、登記・登録証明書類への育種価指標表示のランクの見直しと登録資格における産肉能力育種価条件の改正に着手しました。さらに、繁殖成績優秀な和牛改良組合20組合を表彰し、関係者とともに生産性の高い集団づくりの重要性を確認しました。改良組合育成強化研修会については、ランピースキン病等

により、開催を見送ったブロックがありましたが、アジア周辺諸国においては口蹄疫も発生しており、家畜防疫対策の強化と徹底は引き続き重要です。技術者等養成研修事業については、全国から多数の受講があり、登記検査委員並びに地方審査委員認定講習会、和牛入門ゼミナール、ブロック別地方審査委員会を開催することができました。また、令和2年度から取り組んできました登録基幹システムのWEBシステムへのリプレイスも概ね進み、登録時事業の合理化にも取り組みました。

さて、和牛遺伝資源の不正な流通を防止し、知的財産としての保護を目的とした和牛遺伝資源関連二法が施行され4年が経過しましたが、立入検査等の実施により、一定の成果が認められるものの、改めて家畜人工授精所に対し、家畜遺伝資源の適切な処理等についての周知徹底が求められました。協会としては、畜産生産力・生産体制強化対策事業の「和牛の信頼確保対策」により、和牛遺伝資源を守る取組みの一環として遺伝子型検査による親子判定のモニタリング調査に協力しました。このように、農林水産省をはじめとして、優良和牛遺伝子保留中央協議会や和牛遺伝資源国内活用協議会とも連携をとり、和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。

また、運営管理の部については、会員数は37,180名（前年対比92.3%）と前年より3,092名の減となり、高齢化並びに離農による会員の減少は引き続き進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。この他の事業については、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により概ね計画通りに実施することができました。

I. 事業の部

1. 登録・検定事業

1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計58,500頭（前年度比84.3%）、前年度実績比-10,880頭の減少でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	35,256	22,087	1,070	58,413 (84.3)
褐毛和種	66	12	—	78 (96.3)
無角和種	9	—	—	9 (56.3)
計 (前年度比)	35,331 (86.0)	22,099 (81.6)	1,070 (86.9)	58,500 (84.3)
前年度実績	41,077	27,072	1,231	69,380

子牛登記頭数は 506,627頭(前年度比96.8%)で、前年度実績比-16,525頭の減少でした。また、血統証明書発行件数は5,090件（前年度比102.7%）でした。

2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	(0.0%)
産肉能力検定 直接法	93 件	96 件	(96.9%)
〃 間接法	0 件	0 件	(0.0%)
現場後代検定法	103 件	105 件	(98.1%)
遺伝子型調査	100,112 件	101,045 件	(99.1%)
〃 (再交付)	2,323 件	2,244 件	(103.5%)
〃 (不良形質)	748 件	738 件	(101.4%)

3) 現場後代検定合同調査会の開催について

各道府県の特徴ある種雄牛造成の推進及び若い種雄牛の発掘を目的に、令和7年2月20日～21日の間、京都府京都市において現場後代検定合同調査会を開催しました。10道県から10頭の種雄牛の後代30頭（去勢24頭、雌6頭）が出品されました。また、シンポジウムは、「魅力発信 新たな和牛肉の価値観の構築に向けて」というテーマを掲げて開催しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会にも必要に応じて助成並びに指導を行いました。

4) モニタリング調査の実施について

国の畜産生産力・生産体制強化対策事業「和牛の信頼確保対策」を実施し、各道府県支部・委託団体の協力のもと遺伝子型による親子判定のモニタリング調査を行いました。

2. 育種改良事業

1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。育種牛認定頭数は雄30頭、雌472頭（新規312頭、再認定162頭）となりました。

びらとり(11/11)、十勝(11/12)、三戸地方(11/15)、秋田県(9/20)、福島県(12/11)、飛騨地区(6/11)、城崎(10/7)、淡路(3/11)、美方(3/10)、仁多(3/25)、飯石(3/24)、岡山(7/11)、広島県(4/30)、北松(12/16)、五島(12/17)、壱岐(12/18)、豊肥(2/26)、由布市(2/27)、玖珠(2/28)、肝属(2/4)、曾於(2/5)、始良(3/8)、鹿児島中央(3/6)、薩摩(3/7)

2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は425組合となりました。効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮へ

の取り組みが重要となっています。これらの取り組みが改良組合の活動強化と改良組織の育成強化、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

(1) 和牛改良組合育成強化研修会の開催

本研修会は、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の小集団活動のあり方や個々の農業経営強化に努めるとともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催し、改良組合が抱えている問題点の解決の一助となりました。研修会は、東部地区・中四国地区において次のとおり開催しましたが、中部地区においては牛コロナ感染症の発生、九州地区についてはランピースキン病の発生を考慮し、開催を中止しました。

地 区	会 場	期 日	参加者数
東部地区	福島県郡山市・本宮市	12月9日～10日	65名
中四国地区	兵庫県豊岡市・養父市	12月19日～20日	114名

(2) 和牛改良組合女性部研修会 令和7年3月4日(49名)

和牛改良組合の女性部を対象に、和牛改良の知識習得を図り、和牛生産を支える女性の交流を深めることを目的に開催しました。

(3) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計21回の開催助成と講師の派遣を行いました。

(4) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部5組合の表彰を行いました。

・分娩間隔実績値の部

(東部)	北海道	浜益和牛生産改良組合
	山形県	最上町和牛改良組合
(中部)	新潟県	阿賀・阿賀野和牛改良組合
	岐阜県	南飛驒和牛改良組合
(中四国)	島根県	西いわみ和牛改良組合
(九州)	長崎県	鷹島町和牛改良組合
	〃	生月町和牛改良組合
	〃	長崎西彼和牛改良組合
	〃	小値賀町和牛改良組合

長崎県	宇久町和牛改良組合
〃	佐々町和牛改良組合
〃	今福・調川地区和牛改良組合
鹿児島県	根占町和牛改良組合
〃	屋久島和牛改良組合
〃	奄美本島和牛改良組合
・分娩間隔・飼養管理技術の部	
(東部) 北海道	安平町和牛生産改良組合
〃	浦河町和牛改良組合
〃	新ひだか町静内和牛生産改良組合
(中四国) 兵庫県	美方郡和牛改良組合
〃	養父市和牛改良組合

3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。産肉能力については、支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業について取り組み、育種価評価事業に活用しました。また、脂肪の質にかかわる育種価評価についても各道府県との連携のもと実施し、情報提供を行いました。種牛能力については、子牛登記証明書備考欄への母牛の分娩間隔の育種価指標表示をはじめとして種牛能力の改良に係わる情報の活用を推進しています。

牛肉の美味しさに関する調査については、「環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業」等を利用して、牛肉の一般成分や脂肪交雑の形状等のデータ収集を行うとともに、和牛肉の新たな客観的評価手法の検討を進めました。

ゲノミック評価については、各道府県と協力し、枝肉形質における多角的な精度の検証を行うとともに、飼料の利用性や食味性に関わる形質についても評価手法の検証作業を進めました。また、遺伝的多様性の確保を図るため、SNP情報を用いた系統分類を実施し、各地域で取り組む系統再構築のための情報として活用を進めました。さらに、協会で開発・活用を進める和牛SNPチップ（和牛パネル）に繁殖能力や食味性に関連するSNPを搭載し、和牛DNAデータベースの充実をはかるとともに、DNA情報を用いた簡便かつ効率的な育種・改良手法について検討を行いました。

なお、本年度は産肉情報入力0件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報86,117件）、情報解析（年間）14件、情報解析（1回）43件でした。

4) 優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会との連携を強化し、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。また、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動にも協力し、和牛遺伝資源の重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会	令和6年4月12日
育種推進委員会	令和6年6月20日

産肉能力検定委員会 令和7年1月24日
 産肉能力検定小委員会 令和6年5月1日、令和6年9月11日
 和牛改良組合強化委員会 令和7年1月23日

3. 技術者等養成研修事業

1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり4会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第230回	10/ 2～10/ 4	岩手県岩手郡雫石町 全農岩手県本部中央家畜市場	18名
第231回	10/23～10/25	北海道上川郡新得町 北海道立総合研究機構畜産試験場	18名
第232回	10/28～10/30	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	24名
第233回	12/ 4～12/ 6	鹿児島県鹿屋市 肝属中央家畜市場	33名

2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第26回	4/24～4/26	兵庫県加西市 神戸大学大学院農学研究科	31名
第27回	5/15～5/17	附属食資源教育研究センター	32名

3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/15～10/18	青森県上北郡七戸町 青森県家畜市場	31名
西日本	11/ 5～11/ 8	岡山県真庭市 全農岡山県本部総合家畜市場	25名

改良の基礎研修

講義の部	期間	会場	受講者数
全体	6/13～6/14	京都府京都市 全国和牛登録協会2階ホール	66名

4) 支部・支所職員事務研修会の開催について

登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。また、新しい公益法人会計基準にかかわる会計研修会を実施しました。

支部・支所職員事務研修会	令和6年9月2日～3日	(26名)
新しい公益法人会計基準にかかわる説明会	令和7年3月3日	(18名)
登録業務基幹システムの変更に伴う説明会	令和7年3月3日～4日	(22名)

5) 第27回和牛育種・改良問題セミナーの開催について 令和7年1月17日 (29名)

育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象とし、飼料利用性の指標である「余剰飼料摂取量 (RFI)」の活用に向けて余剰飼料摂取量と経済形質の関連にかかわる研究について、牛肉の食味性と筋肉特性の関連性に関しては食肉の風味に影響をあたえる骨格筋の特性についての研究について報告をいただきました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議	令和6年12月13日	(第78回)
登録協議会	令和7年1月23日	(第78回)

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、以下の4ブロックで開催し、令和6年度事業の実施計画等について説明し、審査眼の統一を図るために審査研修を行いました。

ブロック	期 日	会場	参加者数
東部地区	5/23～5/24	秋田県秋田市・由利本荘市	121名
中部地区	5/16～5/17	静岡県沼津市・長泉町	45名
中四国地区	5/9～5/10	鳥取県米子市・琴浦町	118名
九州地区	5/30～5/31	熊本県天草市	137名

4. 普及啓発事業

1) 第13回全国和牛能力共進会について

中央審査委員会での協議に基づき出品条件の詳細と審査基準を決定しました。第13回全共第2回全国連絡協議会(1月23日)を開催し、道府県出品割当頭数と負担金、最終比較審査会場までのスケジュール等について説明を行いました。

2) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

3) 高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会について

各県単位で取り組まれる高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会に対して支援

を行いました。

4) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認システムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に協力しました。

5) 各種刊行物

- (1) 登録簿 7 巻（基本 4 巻、本原 2 巻、高等 1 巻）※
- (2) 和牛誌 4 冊（75 巻 1 号～ 4 号）
- (3) 和牛だより 1 回（第 54 号）
- (4) 和牛産肉能力検定報告書（令和 5 年度直接法、令和 5 年度承認分現場後代検定法）※
※登録簿と和牛だより電子媒体（DVD）にて発行

7. その他

畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち家畜能力等向上強化推進事業（多様な改良情報の収集・分析等対策）を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力育種価評価に活用しました。また、国の施策に基づく「和牛の信頼確保対策」や、「地域固有系統の再構築支援対策」「和牛の飼料利用性評価指標検討普及事業」「デジタル式鼻紋採取システム構築・検証事業」「環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

Ⅱ. 運営管理の部

1. 会員および賛助会員について

会員数は37,180名（前年対比92.3%）、前年度実績比3,092名減少しました。賛助会員については、中央団体11団体、地方団体41団体、個人22名でした。

2. 会議等の開催について

1) 第78回通常総会 令和6年6月21日

[報告事項]

第1号報告 令和5年度事業成績報告

第2号報告 令和6年度事業計画報告

第3号報告 令和6年度収支予算報告

[提出議案]

第1号議案 令和5年度財務諸表承認の件

第2号議案 令和6年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件

第3号議案 令和6年度役員報酬承認の件

第4号議案 理事・監事改選の件

第5号議案 付帯決議の件

2) 理事会

第217回 令和6年6月5日

[審議事項]

第1号議案 令和5年度事業報告について

第2号議案 令和5年度財務諸表について

第3号議案 令和6年能登半島地震にかかわる災害支援事業について

第4号議案 役員改選について

第5号議案 第78回通常総会の開催について

第6号議案 第13回全国和牛能力共進会について

第7号議案 規程類の一部改正について

第8号議案 支部内部規程の一部改正について

第9号議案 協会事務局規程の一部改正について

[報告事項]

1) 令和5年度会員並びに登録関係統計

2) 支部長の交代について

3) 次回理事会等の開催について

第218回 令和6年6月21日

[審議事項]

第1号議案 会長理事、副会長理事、専務理事の互選について

第2号議案 令和6年度理事報酬の決定について

第3号議案 事務局内部規定の改正について

[報告事項]

1) 次回理事会等の開催について

第219回 令和6年11月22日

[審議事項]

- 第1号議案 令和6年度上半期事業実施状況について
- 第2号議案 令和7年度事業計画骨子（案）について
- 第3号議案 第13回全国和牛能力共進会について
- 第4号議案 令和6年度認定和牛改良組合表彰について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 令和5年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 3) 社員選挙の実施について
- 4) 今後の理事会等の開催予定について

第220回 令和7年3月19日

[審議事項]

- 第1号議案 令和7年度事業計画について
- 第2号議案 令和7年度収支予算について
- 第3号議案 登録業務負担金及び改良事業負担金について
- 第4号議案 特定費用準備資金及び資産取得資金の積立計画について
- 第5号議案 第13回全国和牛能力共進会共進会規則について
- 第6号議案 選挙管理委員の任命について
- 第7号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について
- 第8号議案 「団体役員賠償責任保険」の契約締結について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況について
- 2) 2024年公益法人制度改革の概要について
- 3) 令和6年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 4) 令和7年度事務局体制について
- 5) 今後の理事会等の開催予定について

3) 監査会 2回（6月4日、11月21日）

4) 公認会計士による会計指導 4回（8月9日、9月24日、12月2日、3月3日）

5) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

3. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事（常勤）	向井 文雄	H20. 8
副会長理事（非常勤）	秋元 勝彦	R6. 6
専務理事（常勤）	穴田 勝人	H28. 7
理事（非常勤）	後藤 元夫	R2. 6
理事（非常勤）	安齋 彰洋	R3. 6
理事（非常勤）	森 敦	R5. 6
理事（非常勤）	渡部 幹雄	H20. 7
理事（非常勤）	川崎 裕司	H28. 7
理事（非常勤）	荒牧 弘幸	R5. 6
理事（非常勤）	丸山 裕次郎	R6. 6
理事（非常勤）	竹内 和久	R6. 6
監事（非常勤）	高嶺 英康	H22. 7
監事（非常勤）	渡部 俊男	R2. 6

※理事就任R3. 6

4. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地22-1
秋田県	秋田市中通6丁目7番9号 畜産会館6F
山形県	天童市長岡北4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保23番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣1836-1
石川県	金沢市古府1丁目217番地
福井県	福井市高木中央2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田6
京都府	京都市南区東九条西山王町1番地JA京都ビル
兵庫県	神戸市西区玉津町居住88番
島根県	松江市殿町19-1島根県農林会館別館3F
岡山県	真庭市草加部1810
徳島県	徳島市北佐古一番町61-11JA会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍1951-1
長崎県	長崎市銭座町3-3
熊本県	熊本市東区桜木6-3-54県畜産会館
大分県	大分市古国府六丁目4番1号 全農大分県本部別館2階
宮崎県	宮崎市広島1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町15 JA鹿児島県会館7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免1544 JAながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触706 JA壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町938 JAごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字糸原305番地 JAみやざき宮崎中央地区本部内
南那珂	串間市大字大平5677 JAみやざきはまゆう地区本部内
都城	都城市高木町622番地 JAみやざき都城地区本部内
西諸県	小林市大字南西方1112 JAみやざき西諸県家畜市場運営部内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原21696-1 JAみやざき児湯家畜市場運営部内
東臼杵	延岡市櫛津町3060 JAみやざき東臼杵郡家畜市場運営部内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井1番地 JAみやざき高千穂地区本部内内
曾於	曾於市大隅町岩川5591-1 JAそお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁農政普及課内

5. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	全国農業協同組合連合会神奈川県本部	平塚市土屋1275-1
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル4階
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

令和6年度事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。